

## 提携概要（ロサンゼルス港）

1. 提携年月日：1959年3月31日

2. 提携書

### 決 議

日本国、名古屋市の小林市長が親善使節団の一員として、カリフォルニア国際見本市及び産業博覧会を機に、ロサンゼルス市を訪問中であること。

ロサンゼルス市がアメリカ合衆国の第三の大都市であるごとく、名古屋市も今や日本第三の大都市であること。

ロサンゼルス市議会は、名古屋市及び名古屋港が世界の商業、文化及び通商において、現在及び将来しめる重要性を深く認識していること。

両市とも、商工業の発展は、それぞれの港を通じて行われる両市間の国際貿易の伸長による  
ところ大であること。

よって、ロサンゼルス市議会は、大名古屋市が近來商工業上の重要性を高めたことにかんがみ、ここに名古屋市長及び名古屋からの日本使節団に対し、祝意を表することを決議する。

かつまた、ロサンゼルス市長及びロサンゼルス市議会は、名古屋市に対し、いづく尊敬の念から、日本国、名古屋市及び名古屋港を、その同意をえて、ロサンゼルス市の姉妹都市と宣言し、制定することを決議する。

1959年3月31日のロサンゼルス市議会において、上記の決議文が同市議会によって採択されたことを証する。

市長 ノリス ボールソン

市会議長 ジョン S. ギブソン

提案者 第9区選出議員 エドワード R. ロイボール

賛成者 第6区選出議員 L. E. ティンバーレーク

確証者 市 書 記 ワルター C. ピーターソン

## 名古屋港とロサンゼルス港間における港湾の環境保全協力に関する合意書

各国、各地域又は各都市において環境保全のための努力がなされる中、名古屋港とロサンゼルス港は港湾においても環境保全の更なる努力が必要であることを強く認識する。

港湾環境を保全するには、大気、水質、土壌、生態系等の多様な項目について適切に対応しなければならない。

このような多様な項目に対応していくためには、単独港での取り組みでは充分に対応することは容易ではない。国内港湾はもとより、海外港湾の取り組みについて有益な情報を得るとともに、取り組み方法について協議することにより、より実効的な港湾環境保全対策を図ることが可能となる。

したがって、本日ここに、姉妹港である名古屋港とロサンゼルス港は、両港の環境保全のために相互に協力することに合意する。

この協定は両港の法律上の義務は生じないが、親善と相互協力を意味するものである。

2006年10月13日

名古屋港管理組合

専任副管理者

山田 孝嗣

ロサンゼルス市港湾委員会

港湾委員

ケイリーンL. キム